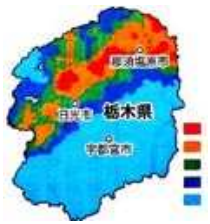
放射能から子どもを守り
１人の被ばく者も出さない

〈日光･放射能から子どもを守る会〉2012.05.18//no.29



赤10～30万,黄6～10万
緑3～6万、紺1～3万
水色～1万　ベクレル/㎡

地表面セシウム汚染地図
2011.08. 02現在換算値

学校は除染対象!! 住宅地は低い線量？
誤魔化しの除染計画、自ら証明！！
日光は汚染地帯!! 気をつけよう!!

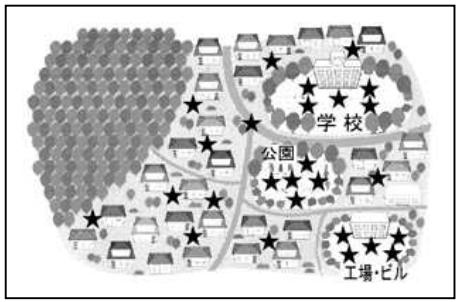
図〈環境省除染･測定ガイドライン 201112〉★測定点案
〈μSv/h=毎時マイクロ･シーベルト〉

日光市は、除染のために２月から３月に放射線量測定をしました。そして、道路などアスファルト上１点の測定数値が、1k㎡の面の汚染放射線量とは驚きです。アスファルト上の放射性物質は、ゴミ、チリと同じく風雨で飛ばされ流されます。さらに、タイヤに付着して持ち去られます。観光地でも住宅地でも、多くの放射性物質は移動します。

日光市は、このアスファルト上の低い数値で周囲の線量を考慮することなく、除染地域を決めました。驚くべき誤魔化しの計画です。

例えば、以下の今市地区、小林地区は、子どもたちの施設は除染すべき対象です。しかし、該当の地区は、対象ではありません。それぞれの施設は地面の 5 点の測定平均です。地区の測定は、道路上で、その差が歴然（下記参照）、日光市の誤魔化しは日光市が証明しています。

環境省は、住宅地区の測定を右図で測定地点を紹介し、「適切な」「全体的な」「平均的な線量を把握」をとしています。また、地区の子どもたちの施設の測定値結果から、その地区が除染対象とすることも可能なのです。しかし、日光市は、そうはしません。



〈以下/2012.02-03 測定値〉

❑今市地区　0.15－0.16－0.13－0.14
- ❖今市小学校　0.20～0.26μSv/h　平均 0.23μSv/h
- ❖今市第3小学校　0.17～0.28μSv/h　平均 0.23μSv/h
- ❖今市中学校　0.18～0.27μSv/h　平均 0.23μSv/h

❑小林地区　0.14･0.16･0.18･0.16･013･0.15･0.24･0.18･0.14･0.18μSv/h
- ❖小林小学校　0.26～0.33μSv/h　平均 0.29μSv/h
- ❖小林中学校　0.23～0.29μSv/h　平均 0.25μSv/h
- ❖塩野室児童館　0.20～0.27μSv/h　平均 0.24μSv/h

日光市の該当するゾーンは？

❑チェルノブイリ･ゾーン　❑〈1999.ナスビット論文より〉

① 移住義務ゾーン	5mSv/年以上
② 移住権利ゾーン	1 mSv/年以上
③ 放射能管理強化ゾーン	0.5 mSv/年以上

②移住を希望すれば資金など支援。
③厳重な放射能汚染対策を実施する地域。

❖年1mSv/時 0.114μSv/公衆被ばく限度基準/ICRP
*内部被ばく含まず、成人対象/妊婦、乳児など敏感無視

❑ 政府の放射能除染基準//毎時0.23μSv ❑
〈日常生活で8時間以上屋外活動禁止が前提、* など〉
❑栃木県原発崩壊前//0.038～0.044μSv/h❑

日光市放射能汚染分布

2011.10.03-12 調査/日光市
測定地上 50cm

マイクロシーベルト/以上～未満		
0.1 未満	1ヶ所	0.2%
0.1～0.2	155ヶ所	28.8%
0.2～0.3	187ヶ所	34.8%
0.3～0.4	152ヶ所	28.3%
0.4～0.5	30ヶ所	5.6%
0.5～0.6	10ヶ所	1.9%
0.6～0.7	2ヶ所	0.4%
0.7～0.8	1ヶ所	0.2%

〈News〉日光市は「水」も「空気」も「食べ物」も安全でした〈日光安全だった宣言〉

❑日光市は、補正なし道路アスファルト上の放射線量測定値で除染計画。昨年４月から「安全」と言っていたのですが…。やはり、汚染地帯だったんですネ。そして、教育委員会は、「毎時１マイクロ･シーベルト以下は問題ない」と言っています。また、観光部長は「0.23 以下は、修学旅行生の基準」と言っていたのですが、忘れたのですか。

❑2012 年度予算//放射性物質対策事業費 129 万円/（安全安心の知識の普及啓発）観光協会補助金 2 億 222 万円、観光宣伝費 6700 万円、東京スカイツリー誘客宣伝費 7720 万円、観光イベントなど 4238 万円･･･観光合計約 6 億 3000 万円也！

❑幼児､子どもなどは､日光市内に5年､１０年･･住み続けると健康への危険が高まる no19
❑日光市内観光業者は、東電から損害賠償金５６億６千万円受理（03.05 時点） no21
❑日光の線量値 3月9日からなぜかグ～ンと低下-文科省 高精度測定器-自動化 no21
❑日光市放射能汚染分布(2012.02-03) アスファルト測定で平均線量２４%減少と誤魔化し安全宣言？日光のセシウム合計は半年で約７%減少し、それ以外はどこかへ移動！

放射能は危険　放射能汚染地帯で生活続けるチエ

❑全食品、食材の検査が大事です。行政の責任でやるべきです。
基準値以下でも、特に、子ども、女性、若者には食べさせない。汚染ゼロを!
食べるものは、汚染されていない県、地域のものに心がけましょう。
同産地、同じ食品は食べ続けない。全ての放射線量測定をして安全が確認できない中では、汚染されるものを食べ続けないためのチエです。

❑うららかな春。花壇、家庭菜園、楽しみですが土は汚染されており、避けたいです。
もし、やるとすれば、手袋、マスクをしてください。終わった後は、よく手を洗い、うがいをしましょう。服や靴の土･ほこりなどを取ってください。

❑放射能の危険から子どもを守る//高い線量の場所には近づかない。マスクをする。
「保養」「一時避難」「疎開」「移住」など考える。相談体制を検討。行政の支援要求。

❖チラシ･バックナンバー見られます//PDF　http://atsugichild.web.fc2.com/

〈日光･放射能から子どもを守る会〉tel･0288･26･0130//nairamdal-1871@dream.jp

除染をやっても日光は汚染地帯
0.23 以下でも放射能は危険です

除染地域、子どもたちの除染施設が決まりました。しかし、除染地域は、道路上で風雨、タイヤで大幅に減少した線量値の誤魔化しの結果から決められています。

子どもたちの施設(保育園、幼稚園など、小中学校)は、なぜ１日でも早く除染をしてこなかったのでしょうか。南相馬市の小学校は、除染されたために、日光の小学校の線量が高くなっています。なぜでしょうか。

日光市は、すでに昨年 4 月から外向けに「安全」宣言です。市内では、放射能の危険性を知らせず、子どもたちには、毎時１マイクロシーベルト以下なら問題ないと言ってきました。日光市は、この姿勢を続けています。日光は汚染地帯です。危険です。

〈数値は平均値/毎時マイクロ･シーベルト＝μSV/h〉

❑除染地域

❖今市地区　瀬尾 0.26、小百 0.35、佐下部 0.40、大桑町 0.34、原宿 0.38
栗原 0.33、高柴 0.34、川室 0.29、轟 0.34、大渡 0.31、町谷 0.29
倉ヶ崎 0.31、倉ヶ崎新田 0.24、芹沼 0.26

❖日光地区　所野 0.23、滝ヶ原 0.24

❖藤原地区　鬼怒川温泉滝 0.26、鬼怒川温泉大原 0.30、小佐越 0.35
柄倉 0.37、高徳 0.34、藤原 0.23

❖足尾地区　足尾町本山 0.29、足尾町愛宕下 0.23、足尾町赤倉 0.28
足尾町南橋 0.31、足尾町深沢 0.27、足尾町上の平 0.27
足尾町下間藤 0.29、足尾町掛水 0.25、足尾町向原 0.25、足尾町 0.24

❑保育園、幼稚園などの除染施設

❖保育園など〈14施設〉　並木保育園 0.24、せせらぎ保育園 0.29
原町みどり保育園 0.23、しばやま保育園 0.23、日光保育園 0.25、所野保育園 0.32
下原保育園 0.37、鬼怒川保育園 0.34、藤原保育園 0.25、高徳保育園 0.39
足尾認定こども園 0.25、豊岡児童館 0.41、塩野室児童館 0.24、つばさ園 0.24

❖幼稚園など〈10施設〉　今市幼稚園 0.23、聖ヨゼフ幼稚園 0.25
清滝幼稚園 0.23、聖アントニオ幼稚園 0.23、きぬ川幼稚園 0.29、芹沼保育園 0.28
杉の子保育園 0.23、㈱近代ビル管理社･たんぽぽ保育園 0.37
宇都宮ヤクルト㈱杉並木託児所 0.25、宇都宮ヤクルト㈱鬼怒川託児所 0.39

❑小中学校の除染施設〈22 施設〉
今市小 0.23、今市第2小 0.25、今市第3小 0.23、大桑小 0.41、轟小 0.38、小百小 0.46
小林小 0.29、日光小 0.25、所野小 0.26、野口小 0.34、安良沢小 0.26
小来川小中 0.25、鬼怒川小 0.34、下原小 0.39、足尾小 0.28、今市中 0.23
東原中 0.27、豊岡中 0.40、小林中 0.25、東中 0.27、藤原中 0.33、足尾中 0.30

放射能汚染の地に、取り残された日光の子どもたち

風で最低と最高の差、２倍以上が続出！日光は汚染地帯！

〈小中学校名のゴシックは、除染対象〉

この1年で放射性物質セシウムは、約14%削減したことになります。しかし、この表を見る限り、線量が大幅に下りました。この原因は、校庭中央の測定にあります。風雨で、放射線物質は、ゴミ、チリと同じように移動します。また、校庭の除染をしても、その周辺すべてを除染しない限り、風が吹けば、急に放射線量は上がります。最低と最高の大きな差が示しています。また、除染対象以外の多くの学校の最高値は、0.23を超えています。日光市は、知らぬ顔で済ますのでしょうか。今後、学校でも、住宅地でも、観光地でも、どこでも風が吹くと急に線量が上がります。放射性物質は簡単に減りません。

日光市立小中学校の放射線量

※栃木県、県教委会測定/2011.05.13-19

〈2012.04.09～13−16～20/月-金〉日光市測定-平均/繰り上げ

	※	最低	最高	平均			※	最低	最高	平均
今市小	0.37	0.22	0.37	0.29		**下原小**	0.54	0.20	0.42	0.30
今市2小	0.41	0.14	0.25	0.20		三依小	0.32	0.29	0.38	0.32
今市3小	0.38	0.15	0.28	0.21		栗山小	0.31	0.10	0.25	0.19
南原小	0.30	0.15	0.19	0.17		湯西川小	0.16	0.12	0.23	0.17
落合東小	0.17	0.10	0.25	0.16		**足尾小**	0.34	0.24	0.34	0.28
落合西小	0.31	0.10	0.18	0.13		**今市中**	0.40	0.17	0.29	0.23
大桑小	0.65	0.27	0.38	0.32		**東原中**	0.34	0.15	0.35	0.26
轟小	0.54	0.20	0.32	0.32		落合中	0.23	0.12	0.22	0.17
小百小	0.71	0.29	0.41	0.36		**豊岡中**	0.59	0.16	0.33	0.26
大沢小	0.22	0.14	0.21	0.17		大沢中	0.23	0.08	0.16	0.14
大室小	0.30	0.16	0.29	0.25		**小林中**	0.37	0.13	0.21	0.15
猪倉小	0.19	0.10	0.19	0.17		日光中	0.42	0.16	0.29	0.22
小林小	0.37	0.21	0.37	0.29		中宮祠中	0.26	0.12	0.23	0.16
日光小	0.36	0.13	0.24	0.17		**東中**	0.45	0.18	0.23	0.21
清滝小	0.33	0.15	0.28	0.22		**小来川中**	0.30	0.19	0.30	0.24
野口小	0.56	0.33	0.41	0.36		**藤原中**	0.55	0.18	0.35	0.27
中宮祠小	0.25	0.13	0.26	0.17		三依中	0.31	0.17	0.31	0.22
所野小	0.49	0.13	0.29	0.17		栗山中	0.33	0.13	0.23	0.18
小来川小	0.32	0.13	0.29	0.24		湯西川中	0.17	0.10	0.24	0.16
安良沢小	0.38	0.16	0.24	0.21		**足尾中**	0.43	0.20	0.34	0.26
鬼怒川小	0.55	0.20	0.47	0.34		単位/毎時マイクロシーベルト//μSv/h				

〈測定地校庭の中心地//測定時間午前9時//小学校/地表50cm//中学校/地表1m〉

❖測定場所に疑問/50m メッシュで学校全体と地表、ホットスポット測定が必要

❖除染対象 0.23μSv/h は大人基準。子どもは 2～5 倍敏感、最高値、地表の考慮を！

☢ 日光市は放射能汚染地帯！☢　〈雨どい地上 1cm〉-5　❑明　神❑ (4 月)

＊Aさん宅　毎時 1.193マイクロシーベルト　地上 1m 0.405μSv/h

＊Bさん宅　0.611μSv/h (雨どいなし)